

## エクセルのコンテストLOGの作成

齋藤 章 JA1WOB

アマチア無線を行う中で、通常運用、移動運用、コンテストなどのLOG管理は、ハムログを使い行っています。

ハムログは交信経歴で名前や周波数を確認しながら交信できるので便利なアプリケーションです。またQSLカードの発行も出来るので、大変便利でアマチア無線家にとっては大切なものです。

移動運用した際にパソコンを持っていく事が出来ない場合は、不便を感じます。交信経歴が分からなくて、相手局から親しげに名前を呼ばれ、自分で相手局の名前を思い出せない時には、ちょっと申し訳なくなります。

この、便利なハムログもコンテストLOGとコンテストサマリーの作成は出来ません。

但し、ハムログデータをJARL頒布のコンテストログE-LOG MAKERにテキストデータを取り込み、コンテストログを作成して、Eメール送信は出来ます。

私は、ハムログのテキストデータを出力する機能を使い、EXCELで、コンテストLOGとコンテストサマリーを作成しています。

### I コンテストLOGの作成の条件及び概要

- 1、コンテストのRST+コンテストNO.は「Remarks1」に入力する
- 2、ハムログのデータを、検索タブからCSVファイル形式で、出力する
- 3、予め作成したEXCELにCSVファイルを、コピー&ペーストする。
- 4、EXCELシート内で計算式を使い自動的にJARLフォーマット変換する
- 5、コンテスト毎に違う得点などは、手入力を行う
- 6、コンテストサマリーはJARL形式で作成した、EXCELシートに張りつけて、で完成する。

### II EXCELシート、コンテストLOGの説明

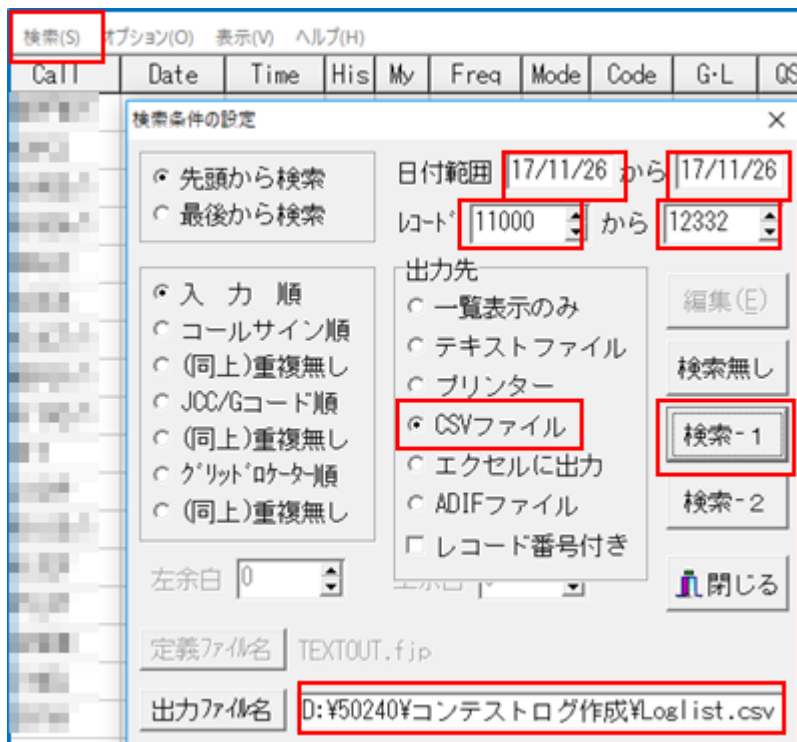
- 1、ハムログの「Remarks1」にコンテストNO.を入力

例では、多摩川コンテストの市記号を入力しています。

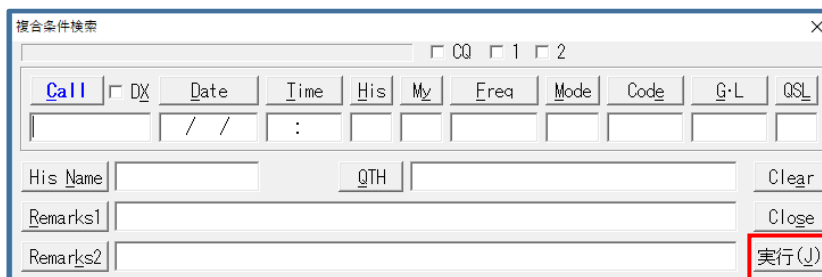
Freq	Mode	Code	G-L	QSL	Name	QTH	Remarks 1
50	CW	1432		JYY	藤原 昭二	東京都 東京都	X
50	CW	1002		JNN	小嶋	東京都 東京都	HA
50	CW	1029		J	中野	東京都 東京都	AN
50	CW	10002F		JYY	大下 隆雄	東京都 東京都	OK
50	SSB	1025		JYY	高橋 隆一	東京都 東京都	TM
50	SSB	1102		J	藤原	東京都 東京都	X

2、ハムログのコンテストデータを、検索タブからCSV形式で、出力する

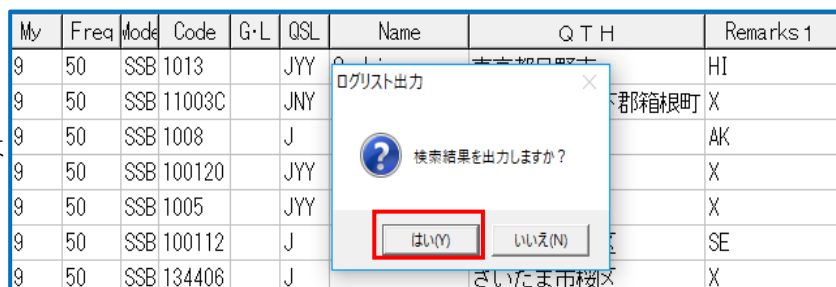
- ①ハムログの  
検索をクリック
- ②日付範囲を該当  
する年月日を設定
- ③レコードをコンテ  
ストデータに設定
- ④出力先をCSVファイル  
●チェックする
- ⑤出力先とファイル名を  
指定する
- ⑥検索1をクリック



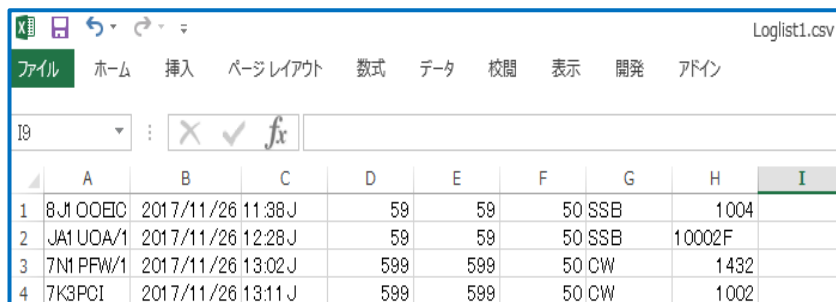
- ⑦右の画面がでたら  
実行をクリック



- ⑧右の画面がでたら  
「はい」をクリック  
すると、出力します。  
内容を確認する場合は  
「いいえ」をクリック  
すると確認出来ます。



- ⑨右の様にCSVファイル  
が出力される



- 3、EXCELシートは下記の様に、①CSV②WK③LOGLIST④Summary⑤REMKS  
の5シートから出来ています

2017/11/26	14:51 J		50 SSB	J1 RWG	59TA	5	
2017/11/26	14:51 J		50 SSB	JA1 CFW	59TA	5	
2017/11/26	14:52 J		50 SSB	JA1 LDG	59TA	5	
2017/11/26	14:53 J		50 SSB	JR1 AKD/1	59TA	5	
Summary		LOGLIST		WK	CSV	REMKS	+

#### 4、シートの機能と手順

- ①CSV：ハムログから出力した CSV ファイルをコピー&ペーストする  
自局のコンテスト NO. を入力する（例では TA）

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
コールサイン	日付	時間	受信RS	送信RS	周波数	電波形式	JOC	G/L	OSL	名前	QTH	REMARKS1	REMARKS2	自局NO.	
7N1 PFW/1	2017/11/26	13:02J	599	599	50 CW	1432	JYY	野田	尾立	東京都立川市		X	常置場所:東京都立川市 JOC1008	TA	0
7K3 PCI	2017/11/26	13:11J	599	599	50 CW	1002	JNN	中野	東京都立川市			HA	常置場所:東京都立川市 JOC1008	TA	0
JA1 WSE/1	2017/11/26	13:20J	599	599	50 CW	1009	J	杉田	東京都立川市			AN	常置場所:東京都立川市 JOC1008	TA	0

- ②WK: CSV シートのデータを計算式で自動フォーマット変換して、LOGLIST  
の元を作成し、コンテスト毎に異なる得点を入力する。  
(例では、CW が 3 点、SSB が 2 点です)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
NO.	日付	時間	周波数	電波形式	コールサイン	送信NO.	受信NO.	マルチ計算	得点
1	2017/11/26	13:02J	50 CW	7N1 PFW/1	599TA	599X	1	3	
2	2017/11/26	13:11J	50 CW	7K3 PCI	599TA	599HA	1	3	
3	2017/11/26	13:20J	50 CW	JA1 WSE/1	599TA	599AN	1	3	
4	2017/11/26	13:43J	50 CW	JA1 UOA/1	599TA	599OK	1	3	
5	2017/11/26	13:54J	50 SSB	7N3 GJC	59TA	59TM	1	2	
6	2017/11/26	13:55J	50 SSB	JA1 DCK	59TA	59X	0	2	

- a) マルチ計算は下記の計算式で求めます。データがある所まで、計算式  
をコピーして下さい。 IF(COUNTIF(CSV!\$M\$2:CSV!M3, CSV!M3)>1, 0, 1)  
解説：CSV シートの REMAKS1 にあるコンテスト NO. の件数を数えています。1  
であれば、マルチ 1、1 以上であれば、重複なので 0 にしている。
- b) フォーマット変換の計算式は CSV シートからのセル参照です。  
コールサインは、=CSV!A2 となっています。  
解説：CSV シートの A 2 セルを WK シートの F 2 に参照表示する。  
受信 NO. は、=CSV!E2&CSV!M2 となっています。  
解説：CSV シートの E 2 と M 2 を結合して WK シート H 2 に参照表示する。  
他の項目の参照は EXCEL シートで確認して下さい。

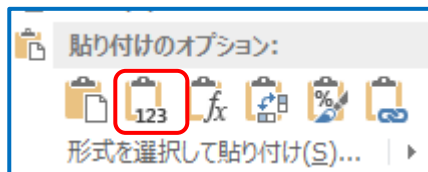
③LOGLIST：JARL形式のLOG SHEETで、WKシートからデータ部分をコピー&ペーストして完成する。

データを張り付ける際には、値でペーストして下さい。

値にしないと、計算式や、書式までがペーストされて書式が上書きされます。

ExcelシートをE-mail添付

等で送信する場合に、計算式が悪化する事があります。



LOG SHEET(ログシート)		Year(年)	2017年		第34回多摩川コンテスト				
Callsign(コールサイン)		JA1WOB			Sheet No(シートナンバー)				
					1 / 1				
Date Y-M-D	Time	Freq	Mode	Station Wkd	Exchange (コンテストナンバー)		Multi	Pts	
NO.	年-月-日	時間 UTC ■ JST	周波数	電波形式	送信	受信	マルチ	得点	
1.	2017/11/26	13:02J	50	CW	7NI PFW/1	599TA	599X	1	3
2.	2017/11/26	13:11J	50	CW	7K3 PCI	599TA	599HA	1	3
3.	2017/11/26	13:20J	50	CW	JA1 WSE/1	599TA	599AN	1	3
4.	2017/11/26	13:43J	50	CW	JA1 UOA/1	599TA	599OK	1	3

④Summary：JARL形式のコンテストサマリーシートで基本的に入力する得点は、LOGLIST からコピーまたはセル参照する。

コンテストサマリーシート				コンテストノ名称	
バンド	交信局数	得点	マルチプレイヤー	第34回多摩川コンテスト	
1.9 Mhz				参加部門及び種目など	
3.5 Mhz				コードナンバー	名称
7 Mhz				流域内電信電話	
14 Mhz				コールサイン	
21 Mhz				JA1WOB	
28 Mhz				総得点	
50 Mhz	37	78	12	936	
144 Mhz					
430 Mhz					
1200 Mhz					
連絡先: 千190-0032		東京都立川市〇〇〇〇〇		TEL .042-〇〇〇-〇〇〇〇	

⑤REMKS：コンテストLOGの作成方法や、コンテストの得点などをメモしておくことで作成の際に迷わない。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
コンテストログ作成手順			多摩川コンテスト						
1 HAM-LOGの「検索」⇒「複合条件検索と印刷」を選択する									
2 該当のコンテストの「日付範囲」の入力と「レコード」の入力を行う									
3 出力先を「CSV」を選択して、任意のフォルダーに出力する。									
4 コンテストlog.xlsxを起動して、CSVフォルダーに「loglist.csv」を張り付ける									
5 CSVの0列に、自局のコンテストナンバーを入力しておく。									
6 WKシートに作成されたデータは計算式なので、データをコピーして、LOGLISTシートに値で張り付ける									
7 得点 CW=3点 SSB=2点 マルチ=異なるコンテストNO.									
マルチのHAMログ入力は、「REMRKS1です」									

サンプルのEXCELシートは、2017年の多摩川コンテストで使用したものです。下記のURLからダウンロードして編集後使用できます。

EXCELファイルは旧バージョン(.xls)にしてありますから、EXCEL2003以前でも使用可能です。

尚、計算式のある、「WKシート」データを削除しないで下さい。

<http://www.inv.co.jp/~ike/testlogsampl.xls>

また、EXCELシートで受付出来るコンテストは、SummaryとLOGLISTのみにして送信可能です。

終わり